

電 力 情 報

NO. 4

平成25年4月25日
東 北 電 力 (株)

平成24年度の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

平成24年度の販売電力量は、東日本大震災による前年の大幅な落ち込みからの反動などにより、778億3,300万kWh、対前年比103.4%の実績となりました。
用途別の実績については、以下のとおりです。

なお、ご参考として前々年度との比較も表－1に掲載しております。

○特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、東日本大震災による前年の大幅な落ち込みからの反動などにより、対前年比101.5%の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比101.3%の実績となりました。

○特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、東日本大震災による前年の大幅な落ち込みからの反動などにより、対前年比107.2%の実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比104.6%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○大口電力

大口電力は、輸出関連企業を中心に稼働減少の動きがありましたが、東日本大震災による前年の大幅な落ち込みからの反動などにより、対前年比103.3%の実績となりました。

2. 供給力について（表－2 参照）

平成24年度の発電電力量の合計は、東日本大震災による前年の大幅な落ち込みからの反動などにより、851億600万kWh、対前年比103.1%の実績となりました。

なお、ご参考として前々年度との比較も表－2に掲載しております。

（自社水力）

夏場の少雨の影響により、出水率89.4%の渇水となり、前年の出水率を下回ったことなどから、発電量は前年を4億7,000万kWh下回る59億5,700万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災により被災した発電所が運転を再開するなど、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を16億7,600万kWh上回る527億5,700万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いから、発電量は前年を9,400万kWh下回る9億4,400万kWhとなりました。

（他社受電）

前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を62億6,400万kWh上回る265億9,800万kWhとなりました。

以 上